

## 学校便り

### プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 233 322 424

Email : gakko@jpschool.cz

No.927 2018/12/17

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

# VLTAVA

## 学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

## 目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

## 長い2学期が終わります。

暑い8月に始まった2学期ですが、12月には一面の雪景色の日もありました。校門で児童生徒のみなさんの様子を見てみると、身長が大きく伸びた人、ランドセルが重くてフラフラしながら登校していたのに歩き方がしっかりした人、大きな声で笑顔のあいさつができるようになった人など、それぞれの人の成長を感じています。

私は、おおざっぱに、学び・運動・生活・読書とに分けて振り返りをしています。学生時代は、学習のことが大半だったのですが、現在は、4つのことに満遍なく課題をつくるようになりました。良かったこと（評価できること）、反省しなければいけないこと（少し力を入れなければならないこと）というように具体的に挙げて、意識して行動するようにしています。そうすることで、達成すれば、自分を褒めることができます。また周囲の人を良く見ていると、お手本となる人から良い点を学ぶこともできます。自分の課題をメモしておかないとすぐに忘れてしまうので、昔は母親によく3日坊主と言われたものでした。最近は、3日坊主はかなり改善されていますが、課題を意識して生活するか、意識しないで生活するかの差は大きいと思って生活しています。

3学期は、あっという間に過ぎ去ってしまいます。1年間のもよみの期間でもあり、次年度への準備の期間でもあります。自分の課題を克服できるように、また目標をもって有意義な生活ができるようにしましょう。

保護者のみなさまには、プラハ日本人学校にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。みなさまにとって、来年も良い年であるように祈念しております。

## テロ・犯罪・感染症対策と「たびレジ」登録はしましたか？

外務省 冬休みの海外安全対策と「たびレジ」登録のお願いより抜粋

- 「たびレジ」登録により、渡航先の最新の安全情報を入手してください。
- テロ等への注意：観光名所やイベント会場等がテロの標的になる可能性があります。最新の治安情報を確認して安全確保に努めてください。
- 感染症に関する安全対策  
渡航先の感染症関連情報を確認して必要な対策を取ってください。

### テロ等に関する安全対策

外務省が発出する海外安全情報、領事メール及び現地報道等により、最新の治安情報等を入手してください。日本人が数多く渡航する欧米やアジアをはじめ世界中でテロ事件が発生しています。テロは単独犯によるものや、一般市民が多く集まる場所（ソフトターゲット）を標的としたものなど様々で、発生の予測や未然防止が困難です。万が一事件・事故等に遭遇した場合には、現地警察等の指示に従い、安全な状況が確保できたら現地の日本国大使館・総領事館等にも報告してください。

- スマートフォン用 海外安全アプリ

[https://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/oshirase\\_kaian\\_app.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_kaian_app.html)

## チェコの人々との交流で学ぶことが多かった11月と12月

1学期には、小学部のすべての学年が、現地校との交流をしました。今学期は、クリスマスマーケットの見学などによる現地理解、現地貢献事業としての行事参加や、現地校との交流が行われました。



11月9日、15日、21日、27日には、ストドゥルキー校から、各日1人ずつ計4人の先生が来校されました。小学5、小学6、中学1、中学2の教室で、チェコの地理や民話、音楽、歴史とそれにまつわる行事などを英語で授業されました。

日本人学校からも4人の先生がストドゥルキー校に出向き、日本語でのあいさつやひらがななどを紹介したり、日本の風習や文化を英語で紹介されていました。特にチェコの子どもたちは、日本のコンビニに、興味を示したようです。



また、折り紙の授業もありましたが、鶴の次に挑戦した紙風船の折り紙が膨らんだときには驚きの歓声が上がっていました。



11月29日には、カレル大学の日本語学科の学生が、日本人学校PTAとの交流のために来校されました。PTAの企画で、中学部の生徒と2時間交流しました。チェコの民話を聞いたり、各班のテーマにそって日本語でのコラージュ（雑誌や新聞の切り抜きを貼り付けた作品）をもとに、図書室で発表しあいました。中学部の生徒は、ハ

ッピーエンドで終わらないチェコの民話を聞き、文化の違いを感じたと発表していました。

12月10日には、小学3年生が1、2時間目に、小学5年生が3、4時間目にヴェリヒ校を訪問しました。現地の子どもたちと一緒にチェコのクリスマスについて、教えてもらいました。ヴェリヒ校の先生が焼いてくださったクッキーと一緒にデコレーションしてクリスマスのお祝いをしました。最後にクリスマスカードをお渡ししました。



12月11日には、小学1、小学2年生が、ボロメイスキー修道院を訪問し、チェコのおじいちゃんやおばあちゃんの前で、楽器の演奏や歌を披露しました。車いすの方やベッドに横たわったままの方にも拍手をしていただきました。手作りのプレゼントも喜んでもらえました。スポーツ幼稚園とも現地で交流しました。クリスマスプレゼントとして、園児のかいた絵をもらいました。



12月12日には、GEVO(ギムナジウム エボルーション サーズフスカ)校の生徒が来校し、日本人学校の中学生と一緒に理科と社会の授業を受けて、英語で意見交流しました。

チェコ語で挨拶し、自己紹介の名刺を渡したものの、コミュニケーション手段として英語を使用せざるをえないので、その必要性を痛感した生徒が多かったようです。子どもたちの英語学習へのモチベーシ

ョンが大きくあがりました。

## AEDが導入されました

日本国内では、ほぼ100%の学校に設置されているAEDが、プラハ日本人学校にも導入されました。日本製で、職員室に保管しています。プールの時は、持参して万一に備える予定です。

導入に際して、海外子女教育振興財団からの援助を受けています。

12月18日にAEDの使い方の職員研修を行います。

